

## 令和2年度第17回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和3年3月22日（月）午後3時03分～午後5時05分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中峰 寿 彰 生涯学習部長 鴻野 弘 志  
職務代理者 五十嵐 紀 子 合宿の里統括監 三上 正 洋  
委員 馬場 千 晶 学校教育課長 須藤 友 章  
委員 加藤 洋 之 社会教育課長 武山 鉄 也  
委員 山田 敦 久 中央公民館長 千葉 真奈美  
図書館長 岡田 英 俊

### 4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

#### ○中峰教育長

次第に暖かくなり、雪が降っては解けてを繰り返して春が近づいていると感じる。今年度も残すところあと10日となった。今月は大綱質疑に続き予算審査が行われ、定例会が先週で終了した。内容については報道されたとおりであるが、財政健全化実行計画に関連して一部施設の廃止提案に対して、「何でも無くすということではなく、急がなければならない中でも、丁寧な説明を行うべき」などの意見が出ていた。また、基本的ルールでは通告したうえで質問しなければならないが、「双馬像」の件や執行方針で示した「人財」の表記などについて、唐突に質問を受けた。「人財」の表記については、議員から「子どもたちがテストで『財』の字を記載し、誤答とされる恐れがある」との意見であった。確かに一般的には「人材」と表記するが、牧野市長も1期目から「人は材料ではなく財産である」との思いを込めて使用してきているものであり、私も同感であると答えた。今後はアポストロフィを付すなども考えたい。

「の一む」の廃止については撤回されることになり、新年度予算が議決された。

3月1日には東高校、12日は中学校、19日は小学校でそれぞれ卒業式が開催された。各校では新型コロナウイルス対策を講じながら粛々と執り行った。高校受験の合否が発表され、残念ながら志望校合格とならなかった子もいる。東高校には9人が受験したが1人辞退し、8人入学する予定。

前回の会議で教職員の人事異動についてお知らせしたが、今日は教育委員会職員の人事異動について確認いただく。

本日もよろしく願います。

#### 1 議事について

#### ○中峰教育長 進行

議案第50号 第3次士別市子ども読書活動推進計画の策定について説明を求める。

#### ○岡田館長

昨年7月19日に1回目の会議を開催し計画案の作成に取り掛かった。児童・生徒・未就学児の保護者を対象にアンケート調査を実施し、その結果を基に目標値を盛り込んだ計画案を作成した。この案について、1月22日から2月22日までの間でパブリックコメントを募集したが、特に意見は寄せられなかった。

#### ○中峰教育長

令和3年から7年の5か年間の計画である。目標値を盛り込み具体的な内容とした。計画策定委員には学校など教育関係者に依頼した。この件についてはよろしいか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案第51号 士別市学校教職員住宅条例施行規則の一部を改正する規則について説明を求める。

○須藤課長

管理している住宅のうち、武徳町の1戸と多寄町の1棟2戸については、教職員住宅としての活用が見込めないため、普通財産に変更し財政課に移管するもの。これにより移管後の教職員住宅戸数は50戸となる。

○中峰教育長

名寄市では90戸くらい管理している。どの自治体でも建物が古くなり、充分に経費をかけて維持することが難しくなっている。移管して新たな活用を図るもの。

○中峰教育長

議案第52号 士別市九十九大学開学要綱の一部を改正する要綱について説明を求める。

○千葉館長

九十九大学は昭和45年に開学し、高齢者に学びの機会を提供し続け51年が経過した。近年は入学希望者が減少している状況にあり、事業の見直しに伴い、大学及び大学院の新規入学者募集を停止することとした。なお、現在在学している学生の卒業・修了については保障する。

○中峰教育長

予算審査において、九十九大学事業見直しの経緯に関する質問があった。年金制度の改正などから働く高齢者が増えたことや、趣味が多様化し、いきいき健康センターなどに高齢者が集まっている現状から入学希望者が減少している。また、以前は憧れとしての意味もあった大学も、現実に進学した経験を有する高齢者が割合として高くなっている一方、敷居が高いイメージもあるといわれている。本市では呼びかけにより、何とか数名が入学してきているが、他市の高齢者大学では入学希望者が皆無といった状況もあるようだ。

○山田委員

学びの内容が大きく変わるのか。

○千葉館長

これまでは、大学と大学院で区別しており、旭川へ出向いたり、講師を迎えて士別の郷土研究を学んだりしていたが、新たに基礎講座として「士別学」、「教養」、「くらし」という3つのコースを設定した。登録制とし、参加者の希望も聞きながら様々な学習を提供する。

○山田委員

カリキュラムが毎年変わるという事か。

○千葉館長

各コースは1年で終了し、卒業はない。同じ内容にならないよう工夫したい。

○山田委員

学習内容のネタを探すのが大変そうだ。

○千葉館長

これまでは、大学1年生から4年生が同じ講義を受けていた。ネタを探すのに苦労するくらい続いてもらいたい。

○山田委員

相続や終活など話題のものを取り入れてはどうか。

○馬場委員

「くらし」は消費生活相談員に、「土別学」は博物館に協力を依頼することが可能かと思うが、「教養」の講師について想定していることはあるか。

○千葉館長

スポーツ推進課が行っているホストタウンの関連で、台湾語講座を実施したことがある。予算のこともあるので、できれば市内の方に依頼したい。自主企画活動は5人以上でまとまって、やりたいことをやってもらうというもの。

○五十嵐職務代理者

自主企画活動の方が人気が出るのではないかと。学びたい人が周りに声をかけ仲間を集めることになる。その中からリーダー的な存在になる人が出てくると思うので、公民館としてサポートを。これまではマンネリ化が伝染していたように感じている。見直しは良いと思う。

○馬場委員

いきいき健康センターでは脳トレや軽スポーツなどを行っている。

○千葉館長

認知症予防などとの棲み分けが必要と考えている。

○山田委員

敷居が高いという話があったが、必要な事だと思う。

○中峰教育長

写真活動がサークルに発展した例がある。毎年同じような内容だとしても、1年も経つと忘れてしまうこともあり、メニューによってはOKでは。基礎的なことなど、ニーズに合わせて行っていく。

○中峰教育長

議案第53号 土別市自主企画事業マイプラン・マイスタディ実施要綱の全部を改正する要綱について、議案第54号 土別市公民館うるおい楽習塾事業実施要綱を廃止する要綱について、合わせて説明を求める。

○千葉館長

マイプラン・マイスタディは5人以上の団体から申請があれば支援するという制度だが、これまで支援回数を制限していなかったため、同じ団体から何年も申請が出ていた。元々は自分達でサークルを運営してもらうため、サークルの力がつくまでの間支援するという考えである。そこで、今後は同一の団体に対する支援を年1回、通算3年までとし、支援額2万円について1年目は全額、2年目は7割の額、3年目は5割の額とするものである。一方、うるおい楽習塾は自治会や老人クラブが対象であり、1回5千円、年間3回までを上限として助成していたが、自治会や老人クラブには別に助成金が出ているため事業を廃止するものである。今後はマイプラン・マイスタディ事業を活用し、発展的にサークルを作って広めてもらいたい。

○中峰教育長

教育委員会は所管している事業が多く、支援事業についても統合の検討が課題となっている。

○武山課長

関連して説明させていただく。文化振興補助金の統合について、これまで対象団体は「おおむね10人以上」としていたが、市民5名以上とした。補助金額は上限20万円としながらも上限を超えて補助していた例があったが、統合後は30万円を上限と定めた。また、補助金の審査について、これまで社会教育委員が意見聴取していたが、庁内の委員会が審査にあたることとなる。交付の回数についても3

回までと制限することとした。交流促進事業については、みよし市との野球・サッカーを通じた交流などが対象となる。審査会の事務は企画課が所管するが、文化関係については、これまでどおり相談窓口として社会教育課で対応する。

○中峰教育長

これまで交流推進事業は多く活用されてきたが、人材育成事業に関して、近年は申請が極めて少なかった。

○加藤委員

総じて若者の団体は補助金の存在を認知していないように思う。どうすれば使えるのかほとんど知らないのではないか。国・道・市でも人材を上手く育てていく必要がある。

○馬場委員

手続きなど面倒がる傾向があると感じる。書式などはどうなるのか。

○武山課長

今までより使いやすくなるよう検討したい。

○馬場委員

申請書は記載欄が小さい印象がある。簡素化し分かりやすいものにしてほしい。

○中峰教育長

別紙を添付する形をとれば省くことができる。交流事業はみよし市やゴールバーンマルワリー以外に、スポーツ活動で標津町やJ Cで豊田市などとの間で活用した経過がある。担当はもちろん、広報からの周知も必要と感じる。市町村振興協会や太陽財団、伊藤組などの財団関係でも子どもたちのための制度があり、広く周知を図ることも望まれる。

○中峰教育長

議案第55号 士別市教育委員会所管事務各種審議会等委員の選任について説明を求める。

○武山課長

教職員の人事異動などにより確定していない部分があるため、現段階でお示しできるもののみ記載している。

○中峰教育長

上士別公民館兼内分館の取扱いについて、地域で協議が進められているようだが、その後の状況は。

○千葉館長

地域から意見を聞き取り、令和3年中に方針を出す予定と聞いている。

○中峰教育長

すでに検討が始まっており、上士別公民館に検討が委ねられているようである。地域（兼内地区）では体育館を使用したイベントを毎年開催してきたが、一昨年を最後に取り止めており、残余資金については、昨年、市に寄附していただいている。

○中峰教育長

議案第56号 令和3年度士別市教育委員会職員の人事異動については最後に説明する。

2 その他について

(1) 入学式の日程について

(2) 令和3年度予算審査について

(3) 当面する今後の日程について

鴻野部長説明

○中峰教育長

議案第56号 令和3年度士別市教育委員会職員の人事異動について説明する。

16時40分 秘密会を宣する

17時05分 秘密会を解く

以上で会議を終了する。

午後5時05分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章